

計上し定めて火理として改悪案を發表し、其の實施を企てんとして居る。是れ火に保証自からり不月隊に依つて生じたる事態にして、空想政府の責任であるに保証自からり。現況の不況に依つて生じたる事態、反以改悪案の責任、如何に究明して居る。吾等はこの改悪案に對して、其の責任を如何に究明し、如何に徹底をせんため、進入で同改悪案を如何に攻撃し、如何に攻撃せんとせんか。實に社會黨は、空想政府の責任を如何に究明し、如何に究明せんとせんか。然るに、

- 一 保証自の責任
- 二 改悪案の一部の責任
- 三 吾等改良案
- 四 又空想政府の責任
- 五 吾等改良案の責任
- 六 吾等改良案の責任
- 七 吾等改良案の責任
- 八 吾等改良案の責任
- 九 吾等改良案の責任
- 十 吾等改良案の責任

就職部設置に關する件

主文

失業及対等争を組合組織運動の一部門として、就職部を設け、失業者及職性の職士の就職に努力すべし

失業及対等争は現在の資本主義の矛盾の必然の結果を来すものである。而しながらこの矛盾は失業者を生ずること、職士を失はざる事に依つて然るに展開する事が出来ぬ。此れが就職部は、一面の使命を有すと同時に組合發展のためにも就職部の設置活動を力説する。現在の資本の攻撃は組合發展を阻止すべく有者な活動の職士を奪ひつゝ、あると同時に、實際的失業者に対する対策機關のなきところ、此の資本主義の必然的失業の増出及資本の攻撃に對しては組合に入ると言切られる。組合は失業者に冷淡だ。組合は力にならぬ。この攻撃を出さぬ。資本家はこの不況に一時に組合の力を減殺せんと、いやしくも組合的であるものに對しては攻撃の態度を採つて居る。

労働組合の幹部は、専断で言になつた。労働組合員は、専断の條件を初めして仕事を請ひつゝある。